

## 平成 24 年度 飯豊山系砂防事務所 補正予算について

平成24年度国土交通省関係補正予算については、「日本経済再生に向けた緊急経済対策」(平成25年1月11日閣議決定)に基づき、「復興・防災対策」、「成長による富の創出」及び「暮らしの安心・地域活性化」の3分野に重点化した所要の経費が計上されたところです。

配分に当たっては、地域の実情や地方公共団体の要望等を勘案しつつ、老朽化対策、事前防災・減災対策など「命を守る公共事業」を中心に、上記3分野に重点的に取り組む観点から、高い緊急性と効果が認められる事業に配分を行うこととしています。

飯豊山系砂防事務所では、山形県西置賜郡小国町における<sup>すぎたちさわ</sup>杉立沢土砂流出対策工の推進を含む、660百万円が配分されました。

### 1. 予算規模

全体事業費：660百万円(うち、山形県分事業費：430百万円、  
新潟県分事業費：230百万円)

### 2. 事業箇所

・<sup>すぎたちさわ</sup>杉立沢土砂流出対策工の着手(山形県西置賜郡小国町)

他6箇所

# 飯豊山系直轄砂防事業（杉立沢土砂流出対策）の推進

山形県西置賜郡小国町

## 事業の概要

飯豊山系（荒川流域）上流の杉立沢では、地すべり性の崩壊に伴い河道閉塞が生じています。今後の出水により土砂流出が発生した場合、直下流にある災害時緊急輸送道路に位置づけられている国道113号やJR米坂線をはじめとした沿川地域で土砂災害が発生する懸念があります。

土砂災害から沿川地域の安全を守るため、砂防堰堤の整備を推進します。

## 整備効果

砂防堰堤の整備により、下流への土砂流出を抑制し、直下流にある集落や地域の重要交通網等を土砂災害から守るとともに、荒川流域における安全度の向上を図ります。

## 平成24年度補正予算の事業内容

砂防堰堤の整備を推進します。

位置図



全景



河道閉塞発生箇所